

名古屋地本第30回定期大会開催

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため異例の大会 すべては組合員生活と命を守るため

新型コロナウイルス感染症対策として委任状による大会

私たちJR東海労名古屋地本は、6月25日名古屋市「労金金山」において第30回定期大会を開催し、昨一年の取り組みを振り返り、向こう一年の闘う方針を決定しました。

今回新型コロナウイルス感染症対策で組合員不在、委任状による異例の大会となりましたが、組合員の命・健康・生活を守るため苦渋の選択でした。

荻野地本委員長一年の組合員の奮闘に感謝

山田副委員長を議長として選出し、大会の運営につとめていただきました冒頭、荻野地本委員長から「『新しい人事・賃金制度』の問題点、また集中旅客システムは駅無人化をすすめサービスの低下につながり弱者や地方の切り捨てなど、鉄道の使命を放棄するものだ。」と挨拶がありました続いて方針の提起がなされ質疑に入ってゆきました。



ありがとう越坂さん

参加した組合員全員が発言

組合員からは職場の取り組みをはじめ、出向先の労働条件など報告があり、今年一年の取り組みと、今後決意が報告されました。

退職される組合委員に記念品を贈呈

今年7月で退職をされる越坂執行委員に記念品が渡されました。JR東海労結成から今日まで、献身的に名古屋地本を支えてくれた越坂さんに、参加した組合員からおおきな拍手で労をねぎらいました。それにこたえて、越坂さんは退職されても、東海労とともに闘う決意を述べられました。



成功裡に大会は終了

異例な大会ではありましたが、新たな執行体制を確認し、向こう一年の方針を満場一致で承認しました。

新たな体制は組合員に別紙で報告します。